

■特 長

1. ワイドスペクトラムな園芸殺菌剤で各種病害に高い予防効果を示します。
特に灰色かび病、葉かび病などに優れた効果を発揮します。

2. 予防効果に加えて病斑進展阻止効果を有し、また浸達性や残効性も有します。

3. 既存の各種耐性菌に対しても効果を発揮します。また、異なる作用成分を混合しているので、薬剤耐性菌の発達リスクを抑えます。

4. ミツバチ等の花粉媒介昆虫に対する影響が少ない薬剤です（散布翌日導入可能）。

製品ページはこちら



■適用病害名及び使用方法

(2025 年 8 月 27 日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	イミノクタジン を含む農薬の 総使用回数	ピリベンカルブ を含む農薬の 総使用回数	使用 方法
きゅうり	菌核病	1,000	100～ 300	収穫前日 まで	3回以内	7回以内	3回以内	散布
	褐斑病							
	黒星病							
	灰色かび病							
	うどんこ病							
	炭疽病							
	つる枯病							
すいか	菌核病				4回以内	4回以内	4回以内	
	うどんこ病							
	つる枯病							
	炭疽病							
メロン	菌核病				5回以内	5回以内	5回以内	
	うどんこ病							
	つる枯病							
トマト	灰色かび病				3回以内	3回以内	3回以内	
	すすかび病							
	うどんこ病							
	葉かび病							
	菌核病							
いちご	灰色かび病				10回以内 (育苗期は5回以内、 本圃では5回以内)			
	うどんこ病							
	炭疽病							



効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
2. 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
3. トマトの施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、散布後十分に換気をおこなってください。
4. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
5. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。



安全使用上の注意



6. 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
7. 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
8. 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
9. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
10. かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
11. 夏期高温時の使用をさけてください。

● 保管上の注意

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

-
- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。
 - 小児の手の届く所には、置かないでください。●空容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
-